

# 犀川

令和8年4月7日  
校長 下條 拓也  
安曇野市立明科中学校

～感動する心 つなげる心 やり抜く心～

## 令和8年度が始まりました



新1年生44名、職員6名を迎え、明るい雰囲気です。明科中学校の令和8年度が始まりました。ここでは、4月から着任された下條拓也校長先生の入学式での式辞を紹介します。

校舎から見える、常念岳などの北アルプスの山々の残雪の頂と、青々とした空のコントラストが明るく美しく、その変化に安曇野の春を感じます。

本日ここに、安曇野市議会議員 丸山 健太 様、民生児童委員 山崎 芳實 様、学校運営協議会委員の皆様、保護者の皆様にご臨席を賜り、令和八年度「安曇野市立明科中学校入学式」が挙行できますことは、この上ない喜びであります。

四十四名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さんの生き生きとした表情から、この明科中学校へ大志を抱いて入学してくれてきたことが分かります。

この明科中学校は、開校から今年度で六十八年目を迎え、学校目標を「感動する心」「つなげる心」「やり抜く心」としています。皆さんは、明科中学校の学校目標を聞いて、気付いたことはありますか。そうです、学校目標はすべて「心」のことなのです。明科中学校では、仲間や先生方、地域の方と協働しながら、皆さんには自分自身でこの“三つの心”を育ててほしいと考えています。

なぜならば、皆さんが生きていく時代は、予測困難で生成AIなどデジタル技術の発展も相まって、これまで以上に、私たちが“三つの心”をもって、“まどやかに たくましく”未来を拓き、私もあなたもみんなも幸せに生きていくことが強く願われているからです。

明科中学校の“3つの心”とは、

1つめは、ふるさと明科の「自然」や「歴史」、「ひと」を愛し、出会いを喜び、“清らかに 限りなく”自分を高めていこうとする「感動する心」。

2つめは、自分のありのままを認め、「なりたい自分」への追求ができるとともに、『みんなの笑顔を想い、みんなの笑顔のために行動』しようとする「つなげる心」。

3つめは、一人ひとりが、「好き」や「楽しい」、「なぜ」に挑戦し、トコトン探究しようとする「やり抜く心」 です。

皆さん、一人ひとりが、それぞれに“三つの心”を育み、この明科中学校で、“すこやかに たゆみなく”のびていってくれることを心から願っています。一緒に頑張りましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。

お子様の晴れやかな姿を前にして、感慨もひとしおのことと存じます。中学校の三年間は、あっという間に過ぎていきます。かけがえのない青春の日々を、ともに楽しみ、支え、励ましなが、大切に過ごしていただきたいと願っております。

私たち明科中学校の全教職員は、お子様の健やかな成長のため、精一杯取り組んで参り

ます。また、中学時代は、心と体が著しく成長する時期であります。お子様のことでご心配やお気づきな点は遠慮なくご相談いただくとともに、ご家庭のご理解とご協力を得て、心ひとつにして、歩いていく所存です。生徒も大人もともに育ち合う明科中学校でありたいと考えております。

今後、一層のご理解とご協力を賜れますよう、よろしく願いいたします。

結びに、新入生の皆さんの実り多い中学校生活、また、保護者・地域の皆様、ご来賓各位のご健勝を祈念し、式辞といたします。

# 令和8年度のグラウンドデザインです



・・・・・・・・明科中学校からのお願い・・・・・・・・

総合的な学習の時間では、地域に出て本物から学ぶことを大切にしています。突然生徒がお声がけするようなこともあろうかと思いますが、ご協力お願いいたします。

(文責：教頭 志水 宏靖)